

移動スーパー

(有)北海道移動販売マルニ佐藤 による食品移動販売

～ 創業31年、道北に展開する顧客重視の対面販売 ～

1 概要

マルニ佐藤は、4台の移動販売車で、道北各地を回る移動販売事業を実施。当日仕入れ、当日販売をモットーに、顧客との関係を大切にしたいサービスを行っている。

2 背景ときっかけ

もともとは、牛乳製造メーカーから商品供給を受けて移動販売 を行っていたが、卵や豆腐など牛乳以外の食料品も販売して欲しいという利用者の要望を取り入れながら取扱商品を増やしていき、現在の移動販売スタイルが作られた。

玄関先へ配達する方法だと、夏場の温度管理や冬場には凍ってしまう等の問題があり、音楽をかけて巡回して、手渡しで販売する方法をとっていた。

3 取組の内容

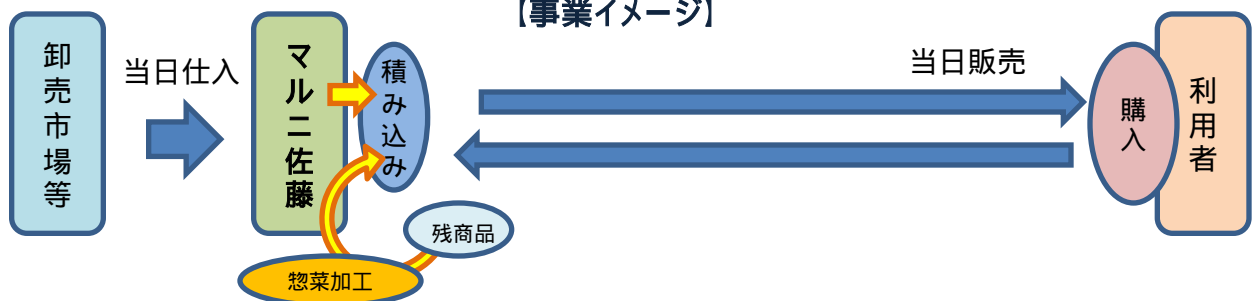
1. 移動販売の概要について

- 北海道旭川市を拠点に、北は名寄市、西は増毛町、南は占冠村まで、広範囲にわたり移動販売車による食料品販売を実施。
- 4台の移動販売車で、車別・曜日別に販売ルートを決め、月曜～土曜日に営業。
- 販売担当者の他、惣菜等の調理場担当、支度要員等の組織体制を構成。

2. 事業の展開等について

- 生鮮品は毎朝7:00頃から卸売市場で仕入れ、日配品や加工食品は専門業者から仕入れる。
- 商品の積み込み後、11:00頃には出発するが、販売を終えて戻り、一日の業務が終わるのは22:00を過ぎてしまう。
- 当日仕入れの商品の鮮度(高鮮度)と、移動販売の利便性の良さを売りにしているため、価格帯はスーパーよりも2～3割割高である。

【事業イメージ】



4 取組の効果

- 長年、同じ地域をまわっていると、昔からの利用者が来ていないと分かるので、近所の人に様子を見てもらうなど、安否確認の役割も果たしている。
- 移動販売車へ買い物に出てくることが、ご近所付き合いの機会となっており、会話の場となっている。

5 取組上の工夫

- 当日仕入、当日販売を行っているため、どうしても売れ残りが出るが、それらを自社で惣菜に加工し、極力ロスを減らすとともに、翌日、付加価値を高めて販売している。
- 移動販売は担当者毎の請負にしており、売上成果を個人の手取りに反映することで、個々の販売力を高めている。
- 移動販売車まで出てこれない人には、家まで商品を持ち込んで販売も行う。

6 今後の展望

- 移動販売の要望は多いが、移動販売車の台数や拠点である旭川市からの距離などの問題から、対応しきれない状況である。
- 昔と比べて初めての業者に対する敬遠度が高く、新しい地域で新規顧客を獲得するのは難しい。
- 昔からの利用者もあり、商品を購入してもらうことで会社が支えられてきたので、これからも可能な限り暮らしに役立つ移動販売事業を続けていきたいと考えている。

7 参 考

事業を実施している地域の人口等概要

名寄市

- 人口 26,590人
- 世帯数 11,241世帯
- 高齢者人口 6,206人(23.3%)
- 飲食料品小売店 100事業所

占冠村

- 人口 1,819人
- 世帯数 1,051世帯
- 高齢者人口 315人(17.3%)
- 飲食料品小売店 7事業所

増毛町

- 人口 5,708人
- 世帯数 2,389世帯
- 高齢者人口 2,011人(35.2%)
- 飲食料品小売店 32事業所

人口、世帯数及び高齢者人口は平成17年国勢調査、飲食料品小売店は平成19年商業統計調査の結果による。

【問い合わせ先】 有限会社 北海道移動販売マルニ佐藤

住所：北海道旭川市春光台4条3丁目6-27 電話：0166-53-4141